

令和元年度 第30回関東高等学校バスケットボール新人大会

令和2年2月8日(土) 男子 2回戦 小瀬スポーツ公園体育館 Bコート 第5試合

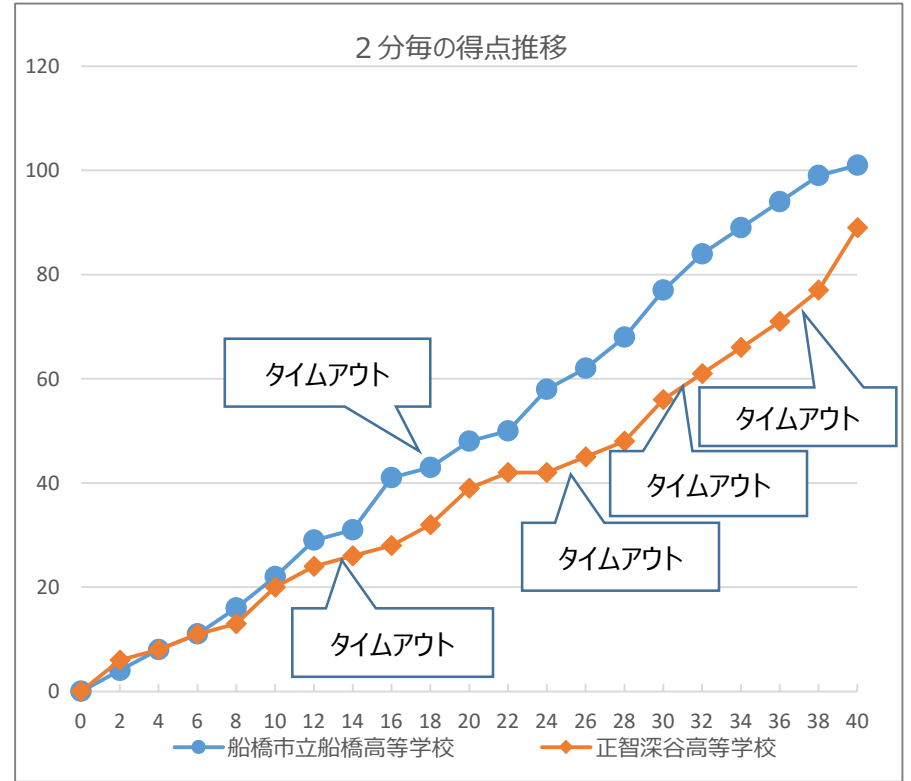
チームA		22	1st	20			チームB
船橋市立船橋高等学校 (千葉県)	101	26	2nd	19	89	正智深谷高等学校 (埼玉県)	
		29	3rd	17			
		24	4th	33			
			OT				

Aチーム： 船橋市立船橋高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	田中 晴瑛	27	3	5	7	10	4	4	1	2	7	9
2	*	5	下川 拓海	20	0	2	8	15	4	5	3	3	8	11
3	*	6	平山 泰我	3	1	2	0	4	0	0	2	2	1	3
4	*	7	市場 脩斗	33	5	8	6	14	6	9	2	3	10	13
5	*	8	天野 皓介	13	0	2	5	8	3	3	2	5	3	8
6		9	濱野 聡一郎	0	0	0	0	2	0	0	3	0	0	0
7		10	井口 瑠大	3	1	1	0	1	0	0	2	0	0	0
8		11	草田 樹	0	0	3	0	1	0	0	2	1	1	2
9		12	濱井 雅貴											
10		13	神川 大地											
11		14	中村 太紀	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
12		15	宮下 柊斗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13		16	佐々木 翔太											
14		17	名倉 睦人											
15		18	米沢 静輝	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
HC/TEAM			斉藤 智海									3	2	5
合計				101	10	24	27	56	17	21	18	19	32	51

Bチーム： 正智深谷高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	太田 誠	23	5	8	3	7	2	4	2	4	5	9
2	*	5	佐々木 謠	21	4	10	3	3	3	4	3	1	7	8
3	*	6	藤平 皓成	13	0	0	6	12	1	2	3	2	2	4
4	*	7	木村 遥音	9	0	3	4	6	1	3	4	1	3	4
5	*	8	大滝 唯人	15	1	5	5	13	2	2	0	0	3	3
6		9	奥山 誠海											
7		10	高橋 匠	8	0	1	4	5	0	0	2	0	2	2
8		11	関河 虎南											
9		12	島本 海丸											
10		13	吉澤 斗真	0	0	0	0	2	0	2	2	1	0	1
11		14	船渡 優駿											
12		15	早川 泰世											
13		16	市川 昭平											
14		17	ブンボン 蓮											
15		18	大友 心董											
HC/TEAM			成田 靖									0	2	2
合計				89	10	27	25	48	9	17	16	9	24	33



戦評

記者者：三井 岳人 (山梨県高体連)

1Q、両チーム、オールコートマンツーマンでスタート。正智#5のゴール下のシュートでゲームが動き始める。正智はバランス良く得点を重ね、市船は#5、7のドライブを基点とし得点する。22-20で市船リードで終了。
 2Q、スタートから一進一退が続く。残り7分、正智はオフェンスのミスなどでたまたまタイムアウト取り、流れを戻そうと試みる。しかし、市船は#7の3Pを含む連続シュートで加点し、48-39で市船リードで前半終了。
 3Q、両チーム、オールコートマンツーマンでスタート。正智#6のゴール下パワープレーでスタート。正智は#6を基点に得点を狙うが、市船のディフェンスに阻まれ、ブレイクで得点を与えてしまう。正智は途中1-1-3ゾーンに変えるも、落ち着いてゲームを進めた市船が77-56でリードして終了。
 4Q、追いつきたい正智は、オールコートゾーンプレスに変え、積極的にボールを奪いに行く。一方、市船は変わらずマンツーマンでスタート。正智の激しいディフェンスに対し、落ち着いてパスを回し、#4、7のシュートで得点を重ね、101-89で市船の勝利。
 終始、安定したディフェンスからの、速い展開で加点した市船が、準決勝に駒を進めた。

主審	第1副審	第2副審
二宮 隆二 (茨城県)	山崎 雅洋 (栃木県)	佐藤 浩太 (東京都)